



はなてんびん

「病院内活動の紹介」

看護部長 森谷純子

1995年（平成7年）の厚生白書で「医療はサービス業である」と明言されて、はや14年が過ぎました。各病院は、患者サービスの向上にむけ、選ばれる病院づくりとして様々に取り組んできました。

私共看護部においても、看護部理念の中で、「自分が患者の立場だったら・・・」また「自分の家族が患者だったら・・・」という視点にたって看護・介護を提供しますと謳ってきました。皆様から頂く「ご意見箱」のご意見は、毎月の定例会議のなかで報告され、職員全員が自分のこととして受け止め改善させていただくための貴重な問題提起としてとらえており、前向きに対処していきたいと考えております。

院内には様々な委員会活動がありますが、今年度新たに、顧客満足（CS）と従業員満足（ES）につなげられるように、CS委員会・QCサークル活動が始動しました。

ご意見箱の内容で、やはり一番多いのは職員

のマナーに関することです。

6月中に皆様からのご意見をアンケート調査させていただき、結果は報告とともに今後の改善に役立てたいと思います。ご協力ありがとうございました。

ESがあつてこそCSが向上できるといわれています。従業員の満足度が高い企業としてディズニーランドやスターバックスが代表される企業ですね。期待を超える感動とサービスを提供しようという姿勢がはっきりしているからだそうです。

現場のスタッフが主体性をもって生き生きと働くことが出来ない限り、スタッフ自身が職場を愛せない限り、目標にあげているような質の高いサービスは望めないのです。

この不況下で、課題は山積みですが、院内の仕事仲間への対応（社内顧客）を大切にする努力も必要です。QC活動を通して風通しをよくし、目標に近づけるよう努力します。



大腸検査のすすめ



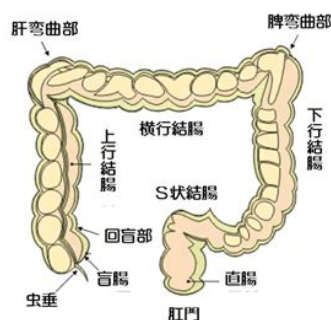
内科 澤村 和夫

現在、日本人の死亡原因の3分の1はがんによるものであり、死亡原因の第1位になっています。がんは心筋梗塞などの心臓疾患や脳卒中（脳梗塞、脳出血など）で亡くなる人より多く、身近な病気であるともいえます。その中でも大腸がんは、罹患率・死亡率ともに増加しているがんの1つです（2006年、女性のがんの死亡原因の第1位、男性では第3位を占めています）。そして男女ともに2015年にはあらゆるがんのなかで、大腸がんの罹患率が1位を占めるものと予測されています。このように大腸がんが増えた理由として、日本人の食生活の欧米化（高蛋白質、高脂肪、低繊維の食事）が考えられています。

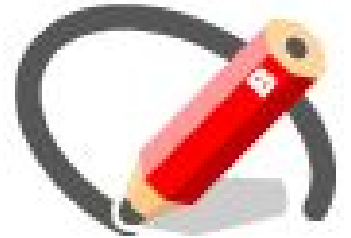
罹患率は高い大腸がんですが、他のがんに比べるとある程度進行していても治りやすいがんです。早期に診断されれば、開腹術を受けなくても内視鏡的に切除することも可能です。そのためには、毎年大腸がん検診（便潜血検査）を受けて、陽性の場合、大腸内視鏡検査、又は注腸検査（大腸レントゲン検査）を受けるこ

とをおすすめします。さらに検診とは別に45歳以上の方は1～2年に1回は大腸内視鏡検査等の大腸検査を積極的に受けていただくとより安心です。

大腸がんの症状には基本的に腫瘍からの出血による症状（下血、貧血）と腫瘍の増大とともに生ずる通過障害による症状（便通異常、下痢、便秘、腹満、腹痛、腸閉塞）があります。ここで注意しなければならないのは、こういう症状がみられるのは、すでにある程度進んだ大腸がんであることが多いということです。ここまでくると治りやすい大腸がんとはいえ、治療が難しくなる場合も少なくありません。特に症状がないから、大腸がんは心配しなくていいだろうということにはなりません。症状がないうちに、是非、検診等を利用して積極的に検査を受けていただきたいと思います。



糖尿病教室



6月24日に行われました。

第1部は佐々木医師による基礎知識として、生活習慣病と言われるⅡ型糖尿病を中心に症状・合併症・治療について勉強しました。ここでは1枚のスライドを紹介します。

第2部では栄養士による「必要なカロリー」の摂り方を学びました。基本は、ご飯の量でカロリーコントロールをしていくと簡単なようです。

まず標準体重を計算します。

$$\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)} \times 22 = \text{___ Kg}$$

次に1日に必要なカロリー

$$\text{標準体重 (Kg)} \times$$

体重1キロ当たり必要なカロリー

$$\uparrow = \text{___ Kcal}$$

1日の動いた量	カロリー
寝ていることが多い	20~25
座っていることが多い	25~30
立っていることが多い	30~35
力仕事をしている	35~40

糖尿病 あなたが主治医！

- ・私たちは、お手伝いしかできません。
- ・「糖尿病教室」は、皆さん自身が糖尿病の治療のプロになっていただくため、勉強していただく場所です。
- ・分からない、疑問に思うことがあれば、遠慮なく質問してください。



糖尿病教室

日時：7月22日（水） 15時～1時間程度 （毎月第4水曜日）

場所：神崎中央病院 2階会議室

内容：理学療法士「楽しい運動療法」

血糖値を効果的に下げる運動方法」

管理栄養士「知っているようで意外と知らない!？」

食品のグループ分け」

毎月、看護師・薬剤師・理学療法士・臨床検査技師等が担当いたします。



血糖値の高い方、ご家族に糖尿病をお持ちの方、ぜひどうぞ!!

糖尿病教室の予定

- 8月26日 看護師「糖尿病は合併症が怖い」
管理栄養士「気をつけたい『さ・し・す・せ・そ』～調味料の使い方～」
- 9月30日 薬剤師「あなたはどんな薬を飲んでいるのか！（糖尿病の薬の話）」
管理栄養士「糖尿病食にぴったり！おすすめ食品&ひかえめ食品」
- 10月28日 臨床検査技師「検査で何がわかるの？（糖尿病検査データの見方）」
管理栄養士「おやつと外食のベストチョイス！（選び方）」
- 11月25日 看護師「足のお手入れ（糖尿病で足を切らないために）」
管理栄養士「これであなたも糖尿病食マスター!!」

診療科目：内科・外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・

耳鼻咽喉科・リハビリテーション科

人工透析センター

診療時間：午前診察 9：00～11：30

午後診察 13：30～16：00

診察日：月～金 午前診察・午後診察

土 午前診察

※ 日曜日・祝日は休診



〒529-1445

東近江市五個荘清水鼻町95番地

TEL 0748-48-5555

FAX 0748-48-5556

E-mail info@kanzakihp.com

URL http://kanzakihp.com

<地域連携室>

TEL 0748-48-5558

FAX 0748-48-5722